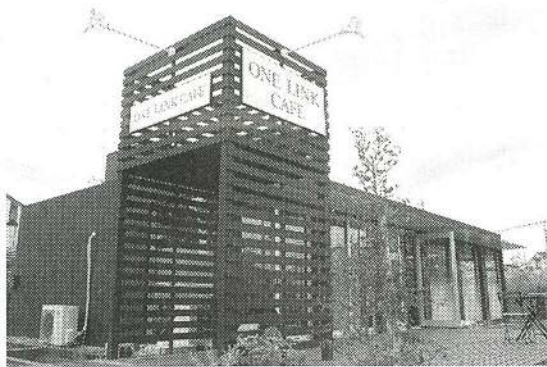


中央住宅「ワンリンク西大宮」 販売センターにカフェ併設

ワークショップなどを開催



地域の拠点となるカフェ

ボラスグループの中央 川典久社長）は現在、さくとは昨年11月から販売住宅（埼玉県越谷市、品 いたま市西区）内において、40区画332戸からなる「ワンリンク西大宮332」では入居が始まっている。プロジェクトの企画・開発を行っているが、6月30日には分譲地内にカフェを併設した販売センターを開設。13日には報道関係者に公開した。同プロジェクト

今回のプロジェクトでは、街区が分散している『分散型分譲地』というスタイルであることから「ワンリンク」になっており、既に一部から「カフェが街区をまとめるような存在になる」(ワークショップコーディネーター・吉田怜渚氏)のセレクトショップ「パンテック」がパンを提供するほか、「ママ&親子」に特化したビジネスサー

地域住民の要望を反映

6月30日には分譲地内にカフェを併設されたことについて、「販売開始直後に地域住民の意見を聞き、気軽に立ち寄りた際に、カフェがほしいとの要望があった」(戸建分譲設計本部・日山麻子氏)以外だったという。同社では、カフェを拠点としたワークショップやイベントの開催を予定しており、継続的なコミュニティづくりを行うべく考えた。カフェにはさいたま市桜区に店舗を構える「パンテック」がパンを提供するほか、「ママ&親子」に特化したビジネスサー

6月30日と7月1日の2日間で行われたオープン記念イベントには21組が来場。そのうち約6割が見込み客や契約者。カフェは期間限定で設置され、土・日・祝日に営業される。